

世界は楽しいこと、素晴らしいことに満ち溢れている

まつもと市民芸術館 芸術監督補佐
水戸 雅彦

「文化芸術は、生きていくために必要なものではないから」という理由によって、予算が削られたりすることがある。教育においてもまず削られるのは芸術系の授業だ。残念ながら日本ではそれでいいと思っている人が多いようだ。自分の半生を振り返ってみると、わくわくするような心のときめき、感動体験による充実感など、生きている豊かさを実感することのほとんどが文化芸術と結びついている。人の営みと共にある様々なモノの中にも文化の香りが溢れている。お気に入りの服、大好きな家具や食器、それらがあるお陰で、日々の生活は生き生きと豊かなものになっていると思う。文化芸術は人間にとってなくてはならないものだ。これからその輝きを増して人々を潤して行ってほしいと切に願っている。

フィンランドの教育の話をしてしよう。フィンランドの子どもたちの学力は世界トップクラス。それなのに西欧諸国で一番授業時間が短く宿題も部活も塾もない。先生たちは、子どもたちの自主性を大切に、彼らの脳が活性化するために、音楽や美術や体育も重要と考えている。そして脳はずっと酷使していると学べなくなるから休ませなければならず、更に、学校は幸せになる方法を見つける場所であり、もっと遊ばせたいと言う。自主的にのびのびと、楽しく学び、楽しく遊ぶ、そのことが子どもたちの意欲を引き出し、結果として学力の向上も引き出しているのだと思う。因みに読書量も世界一なのだそうだ。これがカギなのではないか。

《子どもの皆さんへ》

世界は素晴らしいものに満ち溢れています。たくさん本を読んでください。たくさん音楽を聴いてください。好きなことを本気でやってください。そ

して、いろんなところに出かけ、様々な人の話を聞き、たくさん体験を重ねてください。恋をしてください。失恋もしましょう。誰かに傷つけられた時は、自分も誰かに同じことをしていることに思いを馳せてください。TVや新聞や皆さんを取り巻くたくさんの人たちが色々なことを言うと思いますが、それはそれとして、自分が何をやりたいのか、どこへ向かうのかを考え選択してください。皆さんの周りにはどこまでも広く素晴らしい世界が広がっています。あなたが行きたい場所が見つかったら迷うことなくそこを目指して真っ直ぐ進んでください。必ずそこにたどり着きます。

《大人の皆さんへ》

子どもたちのいいところだけを見てそれを褒めてください。欠点や失敗を指摘しないでください。他人から欠点や失敗を指摘されてよくなることはありません。人は自分で気づき、自分の意思でそれを変えようと思わない限り変わることはありません。子どもがやりたいことを見つけそれに集中しているなら、全力で応援してください。大人の価値観を挟まず子どもを信頼してください。裏切られたと思うことがあっても許してください。人は応援してもらうことで活性化し、信頼してもらうことで自信をつけ、許してもらうことで感謝の気持ちが育まれます。そして愛してもらうことで豊かさや幸福の意味を知ります。子どもたちは、先生や親の言ったことを聴いて育つのではなく、先生や親の後ろ姿、生き方を見て育ちます。好きなことを本気でやり、毎日楽しく過ごしてください。世界は楽しいこと、素晴らしいことに満ち溢れていると話してあげてください。そして、いつも笑顔でいてください。

